

「地層・火山・地震」の資料の探し方(6年生)



＜第1段階＞おもなキーワード。どんな事を調べるのかを考える。

- ① 地層・・・断層・しゅう曲
- ② 火山・・・噴火・火山灰・溶岩・火砕流・海底火山・シラス・富士山・阿蘇山・雲仙普賢岳・桜島・
地熱発電・噴火警報
- ③ 地震・・・震源・活断層・プレート・液状化現象・土石流・緊急地震速報

＜第2段階＞キーワードについて百科事典、年鑑、図鑑等で広く調べる。

- ・『総合百科事典 ポプラディア』03ソ
- ・『21世紀こども百科』03ニ
- ・『朝日ジュニア学習年鑑』05ア



＜第3段階＞具体的なことが書いてある本を図書室で探そう。

分類	書名	出版者	出版年	ラベル	内容
3 社会	『いのちを守る！災害対策大百科 全3巻』	日本図書センター	2008	36 イ	①歴史と仕組み編 ②予測と備え編 ③対処と行動編
4	地球 『ポプラディア情報館 理科の実験・観察 生物・地球・天体編』	ポプラ社	2007	40 リ	地形や地層のでき方、火山、岩石、化石について記述あり。
	地球 『実験はかせの理科の目・科学の芽 土地のつくりと岩石』	国土社	1995	40 オ	地層や岩石、断層について。写真あり。
	地震 『なるほどナットク“自然現象”④ 噴火・地震・津波 “活動する大地の現象”』	学研	2009	44 ナ	火山や地熱、プレートや地震について。図・写真あり。
	地震 『恐ろしい自然現象 地震の大研究』	PHP 研究所	2009	45 オ	地震の起こる仕組み、地震に関することばや地震の備えなど。
	火山 『地球に秘められた大きなパワー 火山の大研究 ふん火のヒミツがよくわかる！』	PHP 研究所	2007	45 カ	火山のしくみや、火山からのおくりもの、噴火と災害について。図・絵あり。
火山 『世界一おいしい火山の本 チョコやココアで噴火実験』	小峰書店	2006	45 ハ	火山とは何か、人びとのくらしと噴火について。	
5 環境	『川の総合学習① 川のはたらき』	ポプラ社	2004	51 オ	地層や断層、しゅう曲、岩石について。写真あり。
E 絵本	『ゆずちゃん』	ポプラ社	1995	E ユ	1995年、阪神・淡路大震災で、かけがえのない命と夢を奪われた少女ゆずちゃんのお話。

＜第4段階＞本以外の資料や、図書室にない資料を探す。

- 雑誌、パンフレット、リーフレット、小冊子など
 - ・ パンフレット『火山 その監視と防災』 気象庁発行
 - ・ リーフレット『島原市観光リーフレット 島原見処絵巻』 島原市発行
 - ・ 小冊子『子ども科学技術白書Ⅶ まんが未来をひらく夢への挑戦 地震災害を究明せよ』

＜第5段階＞インターネットで探す。

- ① 確実な情報なのかを確認して使う。

※ウィキペディアは便利ですが、だれでもが書き込みができるので、参考資料としては不適です。

- ② 検索サイト名、年月日の記録を忘れないように。

- 地層についてのHP

- ・ もぐら博士の地下研究室（独立行政法人日本原子力研究開発機構東濃地科学センターHPより）

http://www.jaea.go.jp/04/tono/kenkyusitu/web/menu_room.html

- 火山、地震についてのHP

- ・ インターネット博物館「雲仙普賢岳の噴火とその背景」

<http://museum.sci.kyushu-u.ac.jp/Museum/Museum.html>

- ・ 気象庁HP <http://www.jma.go.jp/jma/index.html>

＜第6段階＞もっと調べたい時。関連機関、専門家にたずねる。

- ・ 阿蘇火山博物館 <http://www.asomuse.jp/>

阿蘇の火山を中心に、自然・歴史・民族を紹介する博物館

〒869-2232 熊本県阿蘇市赤水 1930-1

TEL:0967-34-2111 FAX:0967-34-2115

- ・ 雲仙岳災害記念館 <http://www.udmh.or.jp/>

雲仙普賢岳の噴火を紹介する記念館

〒855-0875 長崎県島原市平成町 1-1

TEL:0957-65-5555 FAX:0957-65-5550

- ・ 雲仙天草国立公園 平成新山ネイチャーセンター <http://www12.ocn.ne.jp/~hnc/>

〒855-0077 長崎県島原市南千本木町甲 2683

TEL:0957-63-6752 FAX:0957-63-6753



＜さいごに＞

- ① ここに紹介した本はほんの一例です。書架にはまだたくさんの資料があります。
- ② 調べる時は一つの情報源だけを信用しないで、必ず2つ以上の資料で確認しましょう。
- ③ 何の資料を使って調べたのかを必ず記録しましょう。（『書名』・著者名・出版社・出版年・ページ）
- ④ 資料が不足したり、わからないときはどうぞ司書にご相談ください。